

氏名

点数 点/100点

各論演習 23-1

問1)

次の各取引について、(1) 仕訳を示すとともに、(2) 当期末の貸借対照表に計上される利益準備金および繰越利益剰余金の金額を求めなさい。なお、当期は×3年3月31日を決算日とする1年であり、下記以外に純資産の増減に関する取引はなかった。

(資料)

1. ×2年6月25日。定時株主総会で、3,000千円の配当及び新築積立金2,200千円の積立てが決議された。
なお、前期末の資本金は100,000千円、資本準備金は20,000千円、利益準備金は5,000千円、繰越利益剰余金は8,000千円であった。
2. ×2年7月10日。配当金3,000千円が当座預金から支払われた。
3. ×2年12月20日。取締役会の決議により、新築積立金の取崩しが決議された。
4. ×3年3月31日。決算につき当期純利益4,500千円が計算された。

解1)

(1) 各取引の仕訳

単位：千円

1. 株主総会決議時 (×2年6月25日)

借方	貸方

2. 配当金支払時 (×2年7月10日)

借方	貸方

3. 取締役会決議時 (×2年12月20日)

借方	貸方

4. 決算時-利益の計上 (×3年3月31日)

借方	貸方

(2) 貸借対照表に計上される金額

利益準備金		千円
繰越利益剰余金		千円

氏名

点数 点/100点

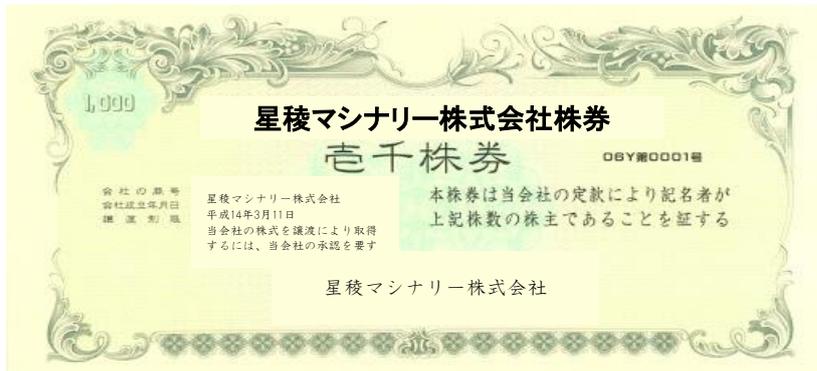
各論演習 23-2

問1)

次の資料により、配当を支払った星稜マシナリー(株)の(1)配当の決議時、支払時の仕訳及び配当を受け取った森七製菓(株)の(2)受取時の仕訳をそれぞれ示しなさい。ただし、森七(株)の仕訳は、星稜マシナリー(株)(発行済株式の12%を保有)を売買目的有価証券で処理していた場合と、その他有価証券で処理していた場合の仕訳で示すこと。

(資料)

その他資本剰余金311,000千円のうち150,000千円の配当および資本準備金の積立15,000千円が株主総会で決議され、後日現金預金により支払われた。



解1)

単位：千円

(1) 星稜マシナリー(株) (配当を支払った側)

①株主総会決議時

借方		貸方	

②配当の支払時

借方		貸方	

(2) 森七製菓(株) (配当を受け取った側) 配当の受取時

①保有有価証券を売買目的有価証券で処理していた場合

借方		貸方	

②保有有価証券をその他有価証券で処理していた場合

借方		貸方	